

進路だより

No.3

8月24日(月)

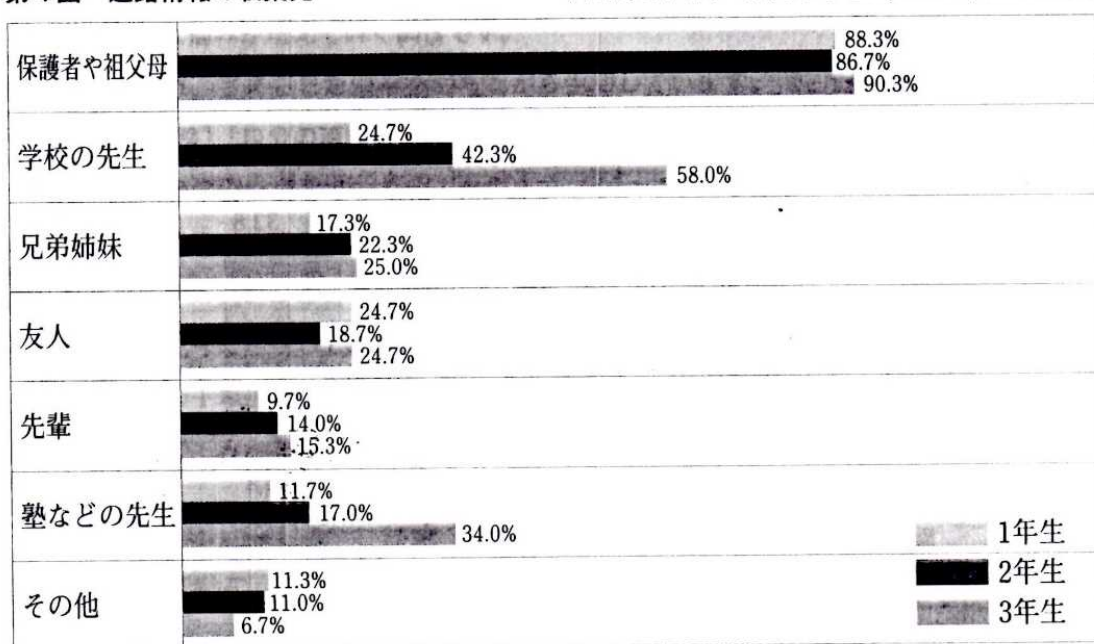


コロナの影響で今年の夏休みは家庭で過ごす時間が多かったのではないのでしょうか。

下の図は「進路について考えるとき、だれから情報やアドバイスをもらいましたか」に対する回答です。3年生になると学校の先生が増えますが、1年生のうちから自分の進路について、保護者とよく相談しているようです。家庭で過ごす時間が増えた分、将来のことについて、話し合ってみるとよいですね。

第4図 進路情報の収集先

(令和元年7月 県内中学校1,600人, 複数回答)



私立高一日体験学習・県立高訪問説明会

部活動を引退した3年生は、直接高校に足を運んだり、中学校で行われた訪問説明会で高校の先生から話を聞いたりして進路について考えることのできた夏休みでした。感想をいくつか紹介します。



8月18日(火) 宇都宮清陵高校説明会

私立高一日体験学習

- ・デッサン講習会に参加した。デッサンの基礎や工夫など勉強になった。体験授業がとても分かりやすかった。（文星女子）
- ・美術デザインコースを体験してきた。先生方も優しく楽しむことができた。2時間目は進路相談をしてきて文星に進学したいと思った。これから親と相談したい。英進科では自主的に積極的に取り組む生徒が多く、学校は9時まであいていて、それまで自習できることがわかった。（文芸附）
- ・校舎が大きくてきれいだった。20分の授業を2回受けた。とても説明が細かくて分かりやすかった。様々な学科があり、同じ普通科でも進学希望などによってコースを選ぶことができることがわかった。（宇短附）

県立高訪問説明会

- ・進学には向いていないと思ったが、大学進学に向けた継続教育があることが知れてよかった。1年生の時からたくさんの資格が取れる点はよいと思った。就職率100%に驚いた。（宇工）
- ・選択で他の学科のことも学べるのがすごいと思った。就職率100%なのがすごいと思った。自分が行きたいと考えていたところ以外のこともよく知れたので他の学科もいいなと思った。（宇白楊）
- ・倍率が高いので、特色も少しだけ考えていたのでそのことについて詳しく聞いたのでよかった。（宇白楊）
- ・中学校では授業が6時間だったが、高校では7時間あるのを初めて知った。1～3年生までの時間割で中学校とは全然違って大変そうだなと思った。勉強で分からないことがあった時は夜遅くまで教えてもらえることがわかった。高校を選ぶときに、家からの近さも大事だということがわかった。（清陵）

卒業生訪問

7月、真岡北陵高生物生産科の1年生の3名が、高校で収穫したメロンを届けてくれました。



村上竜也さん 平松映峻さん 渡邊 真さん

3名が口をそろえて語っていたことは、「自分がやりたかったことが学べる」「専門学科の学習がとても楽しい」ということでした。何を学びたいのか・将来何をを目指すのかをしっかりと考えて進路を選択することがとても大切です。

先輩たちのように、充実した高校生活が送れるよう、進路についてしっかり考えていくようにしましょう。